

普及活動情勢報告（平成29年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

吾北地区で今作第1回目のニラほ場巡回を実施 ～中山間地における高品質ニラ生産を支援～



「今のところ順調やね。今年はなんとか白絹病を押さえたいねえ！」

5月23日、JAコスモスと農業改良普及課は、本年4月中旬～5月上旬に定植された吾北地区の露地及び施設ニラ生産者7戸・13ほ場で今作1回目の巡回指導を行いました。

JAは、今作から取り組む栽培認証「エコシステム栽培」実践要項の説明を、農業改良普及課は、活着促進のための手かん水の実践や病害虫防除対策を、JAとともに助言しました。前作では管内全域で白絹病が多発したことから、生産者からは、有効薬剤の種類や防除時期等について熱心な質問が出されました。

農業改良普及課は、今後もJAと合同で定期巡回し、生育に応じた栽培管理指導を行います。

農業研修生の勉強会

～いの町農業公社～



先輩ほ場の視察

6月8日・9日、農業改良普及課は、一般財団法人いの町農業公社（いの町吾北地区）の研修生（2名）を対象に、露地ピーマンの勉強会と現地研修を行いました。

勉強会は毎月おこなっており、座学で露地ピーマンの栽培、農薬について、現地研修では、先輩農家や各実習ほ場を回りました。現地では、自分たちの実習ほ場との生育状況等の違いについて、熱心に質問をしていました。

今後は、栽培技術や経営だけでなく、農業関係の制度や事業についても講習を行っていきます。

環境測定装置勉強会の開催

～測定装置を使いこなして増収につなげよう～



活用事例
の説明

アンケートの
実施

環境測定技術勉強会アンケートのお願い

20170615 中

二. お手数ですが、今後の普及指導活動の参考にするために下記アンケートへのご回答

い? (該当の番号に○を付けてください)
よった ③少し物足りなかった ④参考にならなかった ⑤不明

と方でどういふ点でそう思いましたか? (ご記入をお願いします)

6月15日、農業改良普及課は、環境制御機器を既に導入した農家と導入を検討している農家を対象として、環境測定装置の勉強会を開催しました。

農家は12名(既導入者5名)参加し、四国総合研究所による「ハッピーマインダー」の使い方やメンテナンス等について、また産地・流通支援課の専門技術員からは、栽培管理面でのデータの活用事例について説明を受けました。

既導入者の中では、温度や湿度などを確認し栽培に活用できている農家がいる一方、確認していても活かし方が分からないという農家もみられました。

今後も導入した機器を十分に使いこなし、更なる増収に繋げるため、農業改良普及課は、順次他メーカーの勉強会を予定しています。

今年の穂肥のタイミングは？
～土佐岩戸米営農組合が穂肥検討会を開催～



幼穂長の確認方法について説明

6月16日、土佐市岩戸公会堂で「土佐岩戸米営農組合」の穂肥検討会が開催され、生産者や関係機関ら26名が参加しました。

農業改良普及課からは、これまでの生育概況や病害虫の発生状況および今後の栽培管理の注意点について情報提供しました。また、ほ場でサンプリングした株の幼穂長の確認方法を生産者の前で説明し、穂肥の施肥時期と施肥量について確認しました。

最後に、県の重点施策である①非主食米への転換の取り組み（飼料米、酒米の推進）、②ブランド化の推進、③大規模稲作経営体と担い手の育成について説明しました。

今後、農業改良普及課は、ブランド化をさらに進めていきます。